

道徳通信

～「撮れなかった1枚の写真」～



愛西市立八開中学校

道徳通信

令和4年3月1日の授業

～～「よりよく生きるとは、どのような生き方だろう」について考えました～～

フォト・ジャーナリストの吉田レイ子さんがベトナム戦争取材中に抱いた葛藤を通して、人としてよりよく生きていくことについて考えました。吉田レイ子さんは、ベトナム戦争で避難する人々を撮影していました。赤ちゃん子どもを連れた母親を「絵になる!」と撮ろうとしたとき、母親は子どもの顔を隠し、自分もレンズから顔を背けました。

あと1cm指を動かすだけなのに…。シャッターを押すことができず、冷や汗が流れます。撮りたかったのに撮れなかった。伝えるべき真実を撮れなかった自分はプロとして失格だ…と悩みます。その後、あの写真は撮らなくてよかったのだ、事実を見たことが重要だったのだと考えるようになりました。吉田さんは、「フォト・ジャーナリストである前に一人の普通の人間でありたい」と思うのでした。

文章を通して、人間の弱さや強さについて考えました。弱さと向き合い、なお気高くあろうとする吉田さんの心情に思いを馳せ、人間として「よりよく生きる」とはどういう生き方か考えを深めました。

◎ あなたなら、母と子の写真を撮りますか？

撮る	撮らない
●● ●●くん その一枚の写真を撮ったら戦争がなくなるかもしれないと思ったから。	●● ●●くん 相手が可哀想だから。
●● ●●さん 写真を見た人に、どれだけこの親子が悲惨な目に合っているか、世界の中でこんな残酷な事が起きているのかを知ってほしいから。	●● ●●くん 相手が嫌がっているのに自分のため、賞をもらうためだけに撮るのはおかしいと思ったから。
	●● ●●さん もし自分が家族側の人だったらすごく嫌だ。だから、嫌がる家族を撮ってまで賞を獲りたくないから。

◎ 授業を振り返って…「よりよく生きる」とはどのような生き方だろう。

●● ●●くん 授業前は毎日楽しく生きることだと考えた。 今は、相手の気持ちを考え、これをしたら相手はどう思うかを考えることだと思った。
●● ●●くん 相手の気持ちを考え、自分で考えること。
●● ●●さん 自分がやりたいと思ったことがあった時、他の人の気持ちを考えて行動し、満足すること。
●● ●●さん 授業前は相手のことについて考えることだと思っていたけど、今は誰もが不満に思わず、自分のことについて沢山悩んだり、考えたりする生き方がよりよく生きることだと思った。
●● ●●さん 授業前は常に向上心をもって前に進み、目標に向けて努力する生き方だと思った。 今は、相手の立場で物事を考え、コミュニケーションを通じ、お互いの世界をより豊かにする生き方だと思った。
●● ●●さん 授業前は自分の好きなことをする生き方だと思った。 今は、よりよく生きるのは自分の意見を大切にすることだと思った。だから自分の意見をしっかりもって生きていきたい。